



しまね大会式典の様相

第59回日本身体障害者福祉大会 しまね大会 盛大に開催

日身連

発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 嵐谷 安雄
東京都豊島区目白3丁目4の3
テアダックビル4階
TEL03-3565-3399(代)
FAX03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

◆【第1部・式典】
開会宣言・実行委員長・大会会長・知事・市長あいさつ
大会は、鎌刈拓也副会長の力強い開会宣言で幕を開けました。国歌斉唱に続き、物故会員の皆さまに黙祷をささげたあと、大会実行委員長の福井幸夫、島根県身体障害者団体連合会会長が地元を代表して、心からの歓迎のあいさつを行いました。嵐谷安雄会長は「条約批准において日身連が貢献できたことに喜びを感じ

第59回日本身体障害者福祉大会しまね大会が、5月22日(木)・23日(金)の2日間にわたり、島根県松江市で開催されました。
今号では、好天に恵まれ、全国から約2600人の参加者を得て、島根県産業交流会館くにびきメッセにおいて行なわれた、大会2日目の式典と議事の模様をお伝えします。

◆日身連会長表彰
各加盟団体からの表彰を受けた、障害者福祉に貢献された会員の功績をたたえて表彰が行われ、51名の方が受賞されました(受賞者名は、3面に掲載)。また、受賞者を代表して島根県の永島幸子さんが嵐谷会長から表彰状を授与されました。



あいさつをする嵐谷会長

のに育てることが重要。そのことをしっかりとらえ、条約で求める共生社会の実現に向け、日身連の取り組みに邁進したい」と力強く訴えました。続いて開催地の島根県知事の溝口善兵衛氏、松江市長の松浦正敬氏(代理出席)より、当地での大会を歓迎するごあいさつを頂戴しました。

ながらも、批准を新たなスタートとして、条約が障害者施策に反映され、実効性のあるものに育てることが重要。そのことをしっかりとらえ、条約で求める共生社会の実現に向け、日身連の取り組みに邁進したい」と力強く訴えました。続いて開催地の島根県知事の溝口善兵衛氏、松江市長の松浦正敬氏(代理出席)より、当地での大会を歓迎するごあいさつを頂戴しました。



くにびきメッセ

◆来賓あいさつ
田村憲久厚生労働大臣(代理出席)から、「今後、皆様が地域社会の中でいきいきと充実した生活を送られるよう、皆様の意見を十分におうかがいしながら、共生社会の実現に努めていきたいと考えています」という、あたたかいごあいさつをいただきました。

【第2部・議事】
手嶋勇一副会長(議長)、福井幸夫、島根県身体障害者団体連合会会長(副議長)、矢野光孝、宮崎県身体障害者団体連合会会長(副議長)が議長団となり、議事を進行しました。「平成25年度事業報告」(次月号掲載)が森祐司常務理事・事務局長から、「平成26年度事業計画」(5月号掲載)が嵐谷安雄会長から報告されました。続いて、松井逸朗副会長より、前日に行われた政策協議の報告がなされた後、「大会宣言」「大会決議」(3面掲載)が読み上げられ、すべての議案・報告が満場の拍手で採択されました。
続いて、閉会アトラクションとして、石見神楽が披露され、大蛇がスサノオと大格闘を繰り広げる壮大なスケールの舞いに会場から大きな拍手が送られました。最後に、次期大会開催地である宮崎県身体障害者団体連合会の矢野光孝会長のあいさつと、小西慶一副会長が「閉会のことば」に続いて「がんばろう」を力強く三唱、盛会のうちにはすべての議事が終了しました。参加者からは、「全国から島根県にこんなにたくさんの方が来ていただいて感激しました」「年に一度の大会参加が、一番の楽しみです。松江は本当にいいところですね」などの声寄せられました。
なお、大会1日目は、ホテル一畑を会場に、午前には日本身体障害者団体連合会評議員会が、午後には政策協議として講演とシンポジウムが開催されました。大会1日目の模様は、次号にお伝えします。